

平成29年度 磯子区運営方針 中間期振り返り

基本目標 「地域の人たちとともにつくる暮らしやすいまち・いそご」を目指して

【達成度】
 5:目標を大きく上回る成果が上がった 4:目標を上回る成果が上がった 3:目標通りの成果が上がった
 2:目標を下回る成果に留まった 1:目標を大きく下回る成果に留まった

| 【P】今年度の主な事業内容 (取組事項) | | 自己評価 | | | 事業評価委員の評価 | | | |
|---|--|--|---|--|--|-----|--|-----|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 中間期 達成数値/達成時期 | 【C】現状の課題等 中間期 振り返りコメント | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| (1)地域の特色を生かしたつながりづくりの活動を支援します <区政推進課 地域振興課> | | | | | | | | |
| 1 魅力にあふれた住み続けたいまち | ①区民主体の地域づくりの支援 | 地域の様々な団体が意見交換を行う場(コスモスミーティング)の参加者アンケートで有意義と答えた人の割合 70%以上 | ・コスモスミーティングの参加者アンケートで有意義と答えた人の割合 89.4% (コスモスミーティング及び参加者アンケートの実施(6月~7月)) | ・自治会・町内会を中心に様々な立場の方に参加していただき、 活発な意見交換が行われた。 今後はアンケート結果を踏まえ、より効果的な次年度の開催方法を検討していく。 | 【指標達成済】 ・区連会、地区連合定例会で主な意見やアンケート結果を報告(10月) ・次年度の開催方法を決定(3月) | 4 | ・コスモスミーティングは各地区で事前にテーマを決めた方がより効果上がるのではないかと。 ・コスモスミーティングに、なるべく多様な新しい人を巻き込んでいくことが大きな課題。 ・地域づくり塾は、参加者の意識の変化などアンケートの結果を大事にしながら、地域での活動につながっていくような支援をしてほしい。 | 4 |
| | | ⇒ 地域課題の解決に取り組む「いそご地域づくり塾」の実施 参加者30人 実施回数6回 | ・地域づくり塾開催へ向け主催者(区・区社協・れんげ舎)及び関係者との調整(4月~9月) ・講座内容(全7回、定員30人)の確定(7月) ・受講生の募集(8~9月) | ・全戸回覧や独自のHP作成等々の積極的な広報を行い、定員の倍近い応募があった。 | ・「いそご地域づくり塾」の開催7回(~1月) | | | |
| (2)地域のにぎわいづくりや活性化に取り組みます <総務課 区政推進課 地域振興課> | | | | | | | | |
| ①磯子区制90周年記念事業の実施 | ⇒ | 区制90周年祝い隊による区内各地でのPR 15回 | ・区制90周年祝い隊によるPR 15回 (4月~9月) ・夏の交通事故防止運動キャンペーン参加(7月) | ・小中学生がPRすることで地域と一体になった盛り上がりが見られている。 | ・10月1日の記念式典以降も、年内は引き続きPRを継続していく(7回予定)(~12月) | 3 | ・前日祭や「いそご魅力発見クルーズ」はかなりの好評を得ている。評価期間としては磯子まつりは含まれないが、そこに至るプロセスの中でいろいろな波及効果が出ているのではないかと。 ・前日祭はいろいろなジャンルの方たちが参加して素晴らしかったが、第一部などは空席が目立った。周知の仕方をもっと工夫できればなお良かった。 ・タイムカプセル郵便は、10年の間に転居する児童への対応について、区の担当者がしっかり引き継ぎをするように。 | 4 |
| | | いそご魅力再発見クルーズ(仮称)の開催 8月 | ・「いそご魅力再発見クルーズ」の開催、乗船人数115人(8月20日) | ・5回の運航すべてで受付開始前に定員に達するほどの盛況となり、参加者から好評を得た。また、根岸湾からの眺めなど新たな磯子の魅力をPRできた。 | 【指標達成済】 | | | |
| | | 区制90周年記念式典の開催 400人 | ・司会者及びオープニングファンファーレ演奏校の決定(6月) ・司会者との打ち合わせ(7・9月) ・案内状の発送(8月) | ・式典当日の具体的な流れについて、関係者と調整を進めていく。特に時間の制約が厳しいため、よりスムーズな実施方法を検討した。 | ・記念式典の開催(10月1日) | | | |
| | | タイムカプセル郵便の実施 区内市立小学校の4年生 約1,200人 | ・タイムカプセル用はがきのデザイン決定(6月) ・区内市立小学校へタイムカプセル用はがき約1,250枚及び回収用のミニポストを配付(7月) | ・今後、10年の間に転居する児童への対応を行っていく必要がある。 | ・記念式典において、4年生代表者から磯子郵便局長へ回収したはがきを手渡す セレモニーを実施 (10月1日) ・はがきを保管し、10年後に発送する(2027年10月) | | | |
| 区制90周年記念磯子まつりの開催 来場者56,000人(54,000人) | ・磯子区制90周年記念事業実行委員会の開催 3回(4月~9月) ・各部会・担当会の開催 18回(4月~9月) ・出店者・出演者・従事者説明会の開催 5回(8・9月) ・前日祭の開催(9月30日) | ・区制90周年記念事業実行委員会での議論を経て、子どもから大人まで楽しめるような、にぎわいが増す企画を検討した。 | ・磯子まつりの開催(10月1日) | | | | | |
| ②商店街のにぎわいづくり | ⇒ | 区役所で開催する商店街朝市 来場者延べ4,500人(4,000人) | ・区役所での商店街朝市 来場者 500人 (5月) | ・5月の朝市では、「ふれあい水族館」を実施し、ファミリーでの参加があり、多くの区民に商店街のPRができた。 <関連取組> ・磯子まつりでの商店街朝市に向けて、朝市の定例会で内容の検討等を行っている。 | ・区役所での商店街朝市 4回 (10・11・1・3月) | 3 | ・モデル事業は、コンサルへの丸投げになっってしまうように、プロセスの中で商店街にも関わってもらいながら、次へ繋がる支援としてほしい。 | 3 |
| | | 活性化のためのモデル事業の実施 2商店街 | ・15商店街に実施したヒアリング内容の分析(~6月) ・モデルとなる商店街の決定(根岸橋通り商和会、杉田商店街)(8月) | ・ヒアリングの結果、「商店街の人手不足」「お客の高齢化」を解消する課題として、モデル事業を行うことになった。 ・コンサルタント、商店街、区と打ち合わせを重ねて、支援メニューの検討を行う。 | ・コンサルタントへ発注(10月) ・コンサルタントによる調査・支援メニュー等の作成(~12月) ・支援メニューの提案(1月~3月) | | | |
| ③第6回 ISOGOダンスまつりの開催 | ⇒ | 文化振興だけでなく、青少年の健全育成に資するイベントとなっている | ・開催日の決定(平成30年3月10日)(4月) ・ダンスまつりの概要決定(8月) | ・青少年の健全育成に資するイベントであることを周知徹底するため、ダンスまつりの目的をチラシに記載。 ・ダンスの技術を競う場であると同時に、参加者に体を動かして自分を表現することの楽しさや目標に向かって努力することの大切さを学んでもらうことで、青少年の健全育成に資する場とする。 ・ダンス初心者を対象としたトライアル部門を新設することで、コンテストの雰囲気を体験させ、本選出場という目標を持たせる。 | ・チラシ等で開催の周知(10月) ・参加チームの募集(10月~11月) ・予選会(1月21日)及び 本選(3月10日)の開催 ・青少年の健全育成という目的を達成するために、審査員にはダンスの技術面のみならず、目標に向かって取り組む姿勢や、皆で協力して一つの作品を作り上げる楽しさや難しさについて、参加者に対し助言をするよう周知する。 | 3 | ・若者のイベントなので、プロセスに若者が入って若者自身が魅力的に感じるイベントにしてほしい。魅力的なイベントかと思うので、ぜひ若い感性をどのように盛り込むかを考えてほしい。 | 3 |

| 【P】今年度の主な事業内容 (取組事項) | | 自己評価 | | | | 事業評価委員の評価 | | | | |
|--|------------------------------|--|---|---|---|-----------|----------|---|---|-----|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 中間期 達成数値/達成時期 | | 【C】現状の課題等 中間期 振り返りコメント | | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| | | | (3)温暖化対策やごみの削減、緑の創出に取り組みます <区政推進課 地域振興課 こども家庭支援課 土木事務所> | | | | | | | |
| 1 魅力にあふれた住み続けたいまち | ①区民一人ひとりが取り組む脱温暖化行動やごみの削減の啓発 | いそごこどもエコフェスタ2017 来場者2,200人(2,000人) | ・環境行動推進本部総会で実施の承認(5月) ・出展企業や出演者等との調整(8・9月) | ・いそごこどもエコフェスタに多数の子どもが来場してくれるよう、出演者など仕掛けづくりを検討していく必要がある。 | ・指標の達成に向け、引き続き、出演者や区内企業・団体との調整を実施(～12月) ・いそごこどもエコフェスタの開催(12月9日) | 3 | | 3 | ・ごみの分別は、そんなに分別しなくてもよいと思う人もいますが、地道にやっていくしかない。 ・「ごみ削減等啓発活動を実施」とあるので、やり方や回数を工夫して、啓発の機会をもう少し設けてはどうか。 | 3 |
| | | ⇒ 磯子区環境行動推進本部が策定するごみと資源の目標値(原単位)の達成 ※平成29年度の目標値 原単位 629g(前年度比▲7g) | ・原単位実績 655g(前年同月比△8g)(6月末実績) | ・今後も継続的に、ごみの分別・削減に関する正しい知識を普及・定着させていく。 | ・引き続き、各機会を捉えてのごみ削減等啓発活動を実施(～3月) | | | | | |
| | ②全国都市緑化よこはまフェアを契機とした緑の創出 | 民間保育施設と連携した季節の花の栽培と展示 5～3月 | ・保育園や幼稚園等の園児同士での種まき 15回(4月～9月) ・パンジー、ひまわり、ポチュラカなど 季節の花の栽培展示 (4月～9月) ・市立保育園4園共通の看板作成(6月) | ・牛乳パックで作ったポットを持ち寄り、園児同士が交流しながらコスモスなどの種まきを楽しむことができた。 ・花の展示を見た方から「きれいに花を飾っていて素敵ですね」と声をかけられるなど地域の方にも喜ばれている。 | ・保育園や幼稚園等の園児同士での 花の栽培 (～3月) | 3 | | 3 | | 3 |
| | | ⇒ 保育教育施設パネル展での区制90周年を祝う花の展示 10月 | ・90周年を祝う花の展示方法の打合せ(6月～9月) | ・ツリーに飾る花の栽培を各園で行うとともに、展示の飾りつけ準備を予定通りに進めることができています。 | ・区制90周年を祝う区役所での花の展示に向けた栽培及び飾りつけの準備(～10月) ・ 保育教育施設パネル展での花の展示 (10月) | | | | | |
| | 緑化活動団体への技術支援 7回(7回) | ・緑化活動団体への技術支援実施 4回 (5・6・7・9月) <関連取組> ・杉田一丁目ふれあい広場への花時計の設置(4月～6月) ・聖天川沿い車道の緑化(通年) | ・目標に向け順調に進んでおり、活動団体から好評を得ている。 | ・緑化活動団体への技術支援実施 3回 (～1月) | | | | | | |
| (4)磯子区の将来像を見据えたまちづくりに取り組みます <区政推進課> | | | | | | | | | | |
| | ①磯子区の将来像の提示 | 磯子区まちづくり方針改定原案の市民意見募集 6月 ⇒ まちづくり方針の改定 3月 | ・改定原案の策定(5月) ・改定原案への意見募集実施の周知(記者発表、自治会会長配布、区内施設配架など)(6月) ・ 市民意見募集の実施 (6月12日～7月3日) | ・これまで市民意見をしっかりと踏まえて策定してきたこともあり、原案への意見は8名13件だった。これらの意見を踏まえ、改定案を策定していく。 | ・まちづくり方針改定案の作成(～10月) ・都市計画審議会への付議(1月) ・ まちづくり方針の告示 (3月) | 3 | | ・都市計画に絡む内容でかなり専門性も高いので、内容がしっかり周知されていたかは各地区で温度差があると思う。 | 3 | |
| (1)身近な地域で支えあう地域福祉や健康づくりの取組を推進します <福祉保健課 土木事務所> | | | | | | | | | | |
| 2 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち | ①第3期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進 | 地域支援研修、講演会及び地域支えあい事業全体研修会の開催 各1回 | ・講演会講師選定(5月) ・ 地域支援研修の開催 (7月) ・地域支えあい事業全体研修会内容検討(4月～9月) | ・地域支援研修は、区・区社協・地域ケアプラザ職員の地域支援のスキル向上に役立つ充実した内容であった。 ・各地区それぞれの状況に応じて地区別推進会議を開催し、推進組織や自治会町内会の取組の情報共有等により、効果的な取組が地区内に広がるきっかけとなるなど、計画の推進を図ることができた。引き続き、きめ細やかな支援をしていく。 | ・ 講演会の開催 (11月29日) ・ 地域支えあい事業全体研修会の開催 (3月) | 3 | | 3 | | 3 |
| | | ⇒ 地区別推進会議の開催 27回(30回) | ・地区別推進会議の開催 12回 (4月～9月) | ・地区別推進会議の開催支援(～3月) | | | | | | |
| | ②保健活動推進員によるウォーキングイベントの継続・推進 | ⇒ 全9地区1回以上(全9地区1回以上延べ16回) | ・企画・実施に関する内容を含んだ研修会の実施、延べ参加者133人(6月) ・ 3地区で4回実施 、延べ参加者105人 屏風ヶ浦地区(4月30日・6月18日)、参加者24人 磯子地区(6月10日)、参加者27人 杉田地区(7月4日)、参加者54人 | ・各地区の保健活動推進員が、区内・市内の魅力を発見できるコースを検討。企画から実施に向けての準備を行った。実施に向け、下見を丁寧に行い、参加者が安全に参加できるよう配慮するとともに、保健活動推進員への支援等を保健師が行っている。 | ・未実施の6地区での開催支援(～3月) | 3 | | 3 | | 3 |
| ③健康づくりにつながる施設整備 | ⇒ 歩くことが楽しくなるルート整備 1か所(1か所) | ・ルート及び距離標やベンチ等の設置箇所の検討(4月～) | ・今後、関係課と現地踏査等を含め調整を進めていく。 | ・ルート及び設置箇所選定(～11月)、 設置 (～12月) | 3 | | 3 | | 3 | |
| | ⇒ 健康公園の整備 2か所(2か所) | ・設計委託契約(5・6月) ・対象を 泉谷第二公園・杉田三丁目公園 に決定(8月) ・設計(～9月) | ・整備内容については地域性を考慮して進めている。 | ・整備完了(～3月) | | | | | | |

| 【P】今年度の主な事業内容 (取組事項) | | | 自己評価 | | | | 事業評価委員の評価 | | | |
|------------------------------|--|---|---|--|--|--|--|-----|------|-----|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 中間期 達成数値/達成時期 | | 【C】現状の課題等 中間期 振り返りコメント | | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| | | | (2)未来を担う子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進します <区政推進課 地域振興課 こども家庭支援課 生活支援課> | | | | | | | |
| 2 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち | ①地域で支えるこども食堂の開設支援 | ⇒ こども食堂の立ち上げ 1会場 7月 | ・地域主体での立ち上げに向けた支援(4月～6月) ・ボランティア団体立ち上がり 3団体(7月) 杉田地区 :8月24日より開始(於:新杉田交流スペース)、利用者延べ子ども33人 大人26人(8・9月、計2回) 磯子地区 :9月21日より開始(於:磯子地域ケアプラザ)、利用者延べ子ども9人 大人26人(9月、計1回) 上笹下地区 :9月8日より開始(於:上笹下地域ケアプラザ)利用者延べ子ども61人 大人26人(9月、計1回) | ・区社会福祉協議会とともにボランティアの立ち上げを支援してきた結果、 3か所で食堂が開設できた。 ・それぞれの食堂が開始したばかりで、ボランティアの運営、資金、食材確保、周知の課題は残る。今後も継続的にボランティアにより食堂が運営されるよう、区内企業へ食材提供を働き掛けるなど、区社協とともに支援していく。 ・そのほかの地区でも、こども食堂に関わりたい、または立ち上げたい等の声が出始めており、これらの団体への支援方法も検討が必要である。 | 【指標達成済】 ・食材確保は、区社協のフードドライブを活用するとともに、磯子事業会との包括連携協定(10月締結予定)に基づく区内企業への食材提供等の依頼を行っていくことで確保する。 ・周知はボランティアが自主的に行うこととしたが、必要に応じて、区が支援する。(随時) ・ボランティア自主運営の後方支援を実施する(随時) | 4 | ・「こども食堂」という名称だと子どもたちはなかなか入りにくいので、各地区で名称を工夫して良い。 ・おそらく大変ニーズが高くて大事な活動。なるべく活動の回数が増えて継続していくことが今後の課題になるので、検討してほしい。 | 4 | | |
| | ②地域全体への子育ての情報・支援の提供 | ⇒ 地域での子育てフェスタの実施 4会場(4会場) | ・4エリア(①根岸・滝頭・岡村②磯子・屏風ヶ浦・汐見台③杉田・上笹下④洋光台)での子育て支援連絡会開催(5月) ・ 子育てフェスタの開催 ② 磯子・屏風ヶ浦・汐見台 :参加者33組70人(9月4日 磯子地区センター) ③ 杉田・上笹下 :参加者50組101人(7月10日 杉田劇場) ④ 洋光台 :参加者35組79人(8月28日 洋光台地域ケアプラザ) ・磯子区子育て連絡会の開催、参加者39人(9月4日) | ・昨年より、幼稚園・保育園への入園・入所前に養育者が情報が取れるように開催時期が早まった地区もあり、準備が大変であった。しかし、区と子育て支援拠点を中心に、地域の主任児童委員、保育園、親子のつどいの広場などの地域の子育て支援をする方々とも実行することができた。 ・各4地区がそれぞれの子育て支援の資源を活かす形でのプログラムを作ることができた。 ・フェスタの開催にとどまらず、日常的に地域で行われている子育て支援活動での課題解決につながるようなネットワークの構築が必要である。 | ・子育てフェスタの開催 ① 根岸・滝頭・岡村 :12月4日 滝頭地域ケアプラザ ③ 杉田・上笹下 :11月6日 JA 横浜磯子支店 ・それぞれの子育てフェスタの反省を生かした磯子区子育て連絡会の開催(2月23日) | 3 | ・区内に子育て拠点は1か所だが、4か所の地域で親子が交流できるフェスタの開催はすごく好評だと伺っている。今後もぜひ続けてほしい。 | 3 | | |
| | ③市立保育園を活用した保育資源ネットワークの構築 | ⇒ 保育の質の向上のための研修 25回(17回) | ・保育の質の向上のための研修 18回 、参加者延べ492人(5月～9月) | ・「保育基礎研修」「グループワーク研修」などを実施し、 研修実施後のアンケートでは98%が今後の保育に生かせるとの回答 であった。 ・市立保育園で実施している「公開保育」に、 今年度から民間保育施設職員も参加 し、保育実践について互いに学びあっている。 | ・保育の質の向上のための研修 7回 (～2月) | 4 | ・園同士の横のつながりが大事になってくるので、その視点は引き続き大事にしてほしい。 | 4 | | |
| | | ⇒ 園同士の交流 62回(58回) | ・園同士の交流 32回 (4月～9月) | ・戸外遊びや避難訓練など公園などでも園同士の交流を行っている。 | ・園同士の交流 30回 (～3月) | | | | | |
| | ④待機児童ゼロを目指したきめ細かな情報提供 | ⇒ 保育・教育コンシェルジュによる出張相談 40回(30回) | ・保育・教育コンシェルジュによる出張相談 40回 (4月～9月) | ・出張相談は毎回10人～20人の相談があり、個々の状況に応じて利用可能な保育施設等を紹介するなど、様々な情報提供を行っている。また、保育所に関する悩みの相談も受け付け、参加者の不安解消にも努めた。 | ・30年4月入所希望者のうち、 保育児童全員へ保育施設等の紹介 を行う(1月～3月) | 3 | | 3 | | |
| | | ⇒ 個々の状況に応じた利用可能な保育施設等の紹介 保留児童全員 | | | | | | | | |
| ⑤青少年健全育成施策の充実 | ⇒ 青少年健全育成指針の策定 10月 | ・指針検討会議の開催(6・7・9月) ・ 指針の策定 (9月) | ・検討会議での活発な意見交換や10回にわたる専門家との打ち合わせを踏まえ、指針の策定に至った。 ・今後、指針の活用方法等について、検討していく。 | 【指標達成済】 ・広報よこはま区版及び区ホームページで広報を実施(10月) ・区連会を通じて全自治会・町内会に指針を配布(10月) ・全小中学校児童・生徒に対してこども向けリーフレットを配布(10月) | 3 | ・子どもに対する課題が複雑になっているので、学校や地域を巻き込みながら、青少年健全育成指針を活用できる方法を検討してほしい。 | 3 | | | |
| | ⇒ 区民向け講演会の開催 1回(1回) | ・総会において、 区民向け講演会から小中学校での出前授業に内容を変更することを決定 (6月) ・公募により出前授業実施校を決定(磯子小学校・根岸中学校)(7月) ・実施校と専門家を交え、出前授業のテーマを決定(9月) | ・昨年度は大人向けの講演会を実施したが、青少年の健全育成に取り組むためには、大人だけでなく子ども達自身に正しい知識を身に付けてもらう必要があると考え、専門家による出前授業を開催することとした。 | ・小中学校各1校で 2回ずつ、出前授業の実施 磯子小学校(10月～3月) 根岸中学校(11月～12月) | | | | | | |
| | ⇒ 青少年の地域活動拠点の開設 10月 | ・開設に向けた調整(4月～8月) ・運営団体の公募開始(9月) | ・スムーズな開設に向けた調整を行っていく。 | ・運営団体の選定(10月) ・ 青少年の地域活動拠点の開設 (11月) | | | | | | |
| ⑥生活困窮世帯の子どもの将来の自立に向けた学習支援の実施 | ⇒ 寄り添い型学習支援「磯子ペンきょう会」の開催 3か所273回(2か所200回) | 3か所で138回開催 、参加者延べ1,846人 磯子地域ケアプラザ46回、参加者延べ885人(4月～9月) 洋光台地域ケアプラザ46回、参加者延べ605人(4月～9月) 杉田劇場46回、参加者延べ356人(4月～9月) <関連取組> ・ 高校卒業に向けた相談支援・居場所23回 、参加者延べ82人(4月～9月)、 自立支援講座 2回 、参加者5人(7月)、7人(8月)。 | ・9月末現在の各学年ごとの参加登録者数(中学1年12人・2年19人・3年28人、高校生17人) ・登録者への声かけを区・事業者で連携して行った結果、 磯子・洋光台地域ケアプラザでの勉強会出席率が昨年度に比べ、1割向上 した(5月～7月の出席率:28年度約6割→29年度約7割) ・ 中学生向け「磯子ペンきょう会」に加え、高校生向けに卒業を目標とした支援を実施 。7・8月に、ハローワークや区内企業の協力を得て、参加者向けに開催した自立支援講座は好評であった。 | ・事業者と区との連絡会の開催(通年、月1回) ・磯子地域ケアプラザ、洋光台地域ケアプラザ、杉田劇場各 45回 <関連取組> ・高校生向け相談支援・居場所22回(～3月) | 4 | ・とても好評で喜ばれている事業と聞いているので、ぜひ継続してほしい。 | 4 | | | |

| 【P】今年度の主な事業内容 (取組事項) | | | 自己評価 | | | | 事業評価委員の評価 | |
|---|--------------------------------|--|---|--|--|-----|---|-----|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 中間期 達成数値/達成時期 | 【C】現状の課題等 中間期 振り返りコメント | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| (3)高齢者や障害のある方が自分らしくいきいきと暮らすための取組を推進します <区政推進課 高齢・障害支援課> | | | | | | | | |
| 2 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち | ①横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた磯子区行動指針の策定 | 磯子区行動指針の策定 3月 ⇒ 地域包括ケアシステム説明リーフレットの配布 5,000部 | ・磯子区行動指針骨子(案)の検討を進めるため、地域包括ケア推進会議を開催(6・8月) | ・ケアプラザ所長会や区社協の代表も参加し、活発な意見交換ができ、骨子(案)に各立場の意見を反映できている。 | 磯子区行動指針の策定(～2月) ・リーフレットの作成(～2月)・配付(3月) | 3 | ・地域ケア会議のリーフレットはかなり良くできており、非常に役に立つと思う。その後作成する地域包括ケアシステムのリーフレットの内容はさらに概念のレベルが高くないとつまらないものになってしまうので、注意してほしい。 | 3 |
| | ②認知症高齢者への理解促進と地域の見守り体制づくりの推進 | 認知症サポーターの養成 累計13,500人(12,547人) ⇒ 認知症サポーターの高齢者支援ボランティア(いそごオレンジボランティア)登録 累計100人(78人) | ・252人養成(4月～8月)、累計12,799人 ・区職員向け研修の実施(6・7月) ・18人養成(4月～9月)、累計96人 | ・各地域ケアプラザがキャラバンメイトと協働で地域住民を対象に講座を実施した。 ・区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携し、登録を進めている。うち55人が活動につながっている。 | ・地域ケアプラザで養成講座を開催(随時) ・キャラバンメイト連絡会の開催(10月) ・登録者証(バッジ)の作成・配付(10月) ・ステップアップ講座の開催(12月22日) | 3 | ・キャラバンメイトが小中学校に行き講義をすることによって、子ども達の認知症の方たちに対する理解が深まり、接触することを怖がらなくなっていることがとても良いことだと思う。 | 3 |
| | ③高齢者の健康づくり・介護予防の推進 | 元気づくりステーション活動支援 新規2か所 継続20か所(新規3か所 継続17か所) ⇒ 介護予防講座・講演会の開催 60回(70回) | ・新規2か所立上げ(4月)、継続20か所支援(4月～9月) ・介護予防普及啓発講座・講演会の開催 地域ケアプラザ39回(4月～9月)、区3回(9月) ・認知症とロコモ予防講演会の開催(9月1日) | ・各地域ケアプラザと連携しながら、22か所のグループの自主活動支援ができており、目標を達成できている。 ・各地域ケアプラザで介護予防普及強化事業を実施できている。多くの区民に介護予防についての意識啓発ができています。 | 【指標達成済】 ・活動支援に活用できる「ハマトレミんなの磯子体操」のリーフレット作成(10月) ・健康教育出前講座(口腔機能・栄養)の実施(11月～3月) ・運動・認知症予防リーダー養成講座の開催(10月25日) ・各地域ケアプラザでの開催(随時) | 3 | ・高齢者を対象にした施策が様々展開され、市民から見ると分かりにくい面もあるので、全体を俯瞰できるように説明方法を検討してほしい。 | 3 |
| | ④高齢者が自分らしく生きるための本人及び介護者への支援 | エンディングノート書き方講座 累計8,200人(7,739人) ⇒ 「介護者のつどい」参加者 延べ340人(334人) ⇒ 虐待の早期発見のための介護事業者向け研修会の開催 参加者50人(48人) | ・198人受講(4月～9月)、累計7,937人 ・認知症とロコモ予防講演会でミニ講話開催(9月1日) ・参加者延べ190人(4月～9月) ・効果的な開催手法を各地域ケアプラザと検討(7月) ・居宅介護支援事業者向け研修及び施設職員向け研修について、内容及び日程決定(6月) <関連取組> ・地域ケアプラザと協働した施設職員向け研修の実施 参加者24人(9月) | ・他事業と連動しながら、エンディングノートを配布する機会を設けていく。 ・効果検証の実施方法が課題である。 ・当初は居宅介護支援事業者向け研修のみ予定していたが、施設からの研修要望にも追加で対応した。 | ・地域ケアプラザのシニアライフ講座(随時)や、運動・認知症予防リーダー養成講座(10月25日)等でエンディングノートを配布 ・案内チラシを配架(10月) ・各地域ケアプラザで「つどい」を実施(～3月) ・居宅介護支援事業者向け研修(12月) | 3 | ・エンディングノート書き方講座を夫婦で受講した方が、ご主人が亡くなった際に安心して見送ることができたとおっしゃっていたので、ぜひ実施してほしい事業。 ・エンディングノートは行政の作る数少ないベストセラーで、各地区で話題になっている。 | 4 |
| | ⑤日常的な買い物困難者への支援 | モデル事業の実施 1地区 ⇒ | ・モデル事業実施予定の上笹下地区でアンケートを実施(6月～7月) ・アンケートの集計・分析(8月) | ・アンケート結果から店舗から離れた地域で移動販売の利用意向が高いことなど地域の具体的なニーズが見えてきたので、モデル事業の実現に向け、事業者とのマッチングを粘り強く行っていく。 | ・モデル事業の実施(3月) | 3 | ・上笹下はバスが不便なところもあり、高齢化しているところもあるので、ぜひ進めてほしい。 | 3 |
| | ⑥障害に対する理解に向けた持続的な普及・啓発の促進 | 障害理解のための取組(パネル展、映画会等) 16回(16回) ⇒ | ・普及啓発7回開催 こすもすショップ(障害者施設自主製品販売)5回(4月～7月、9月) 障害者スポーツパネル展(8月20日～26日) 自殺予防週間パネル展(9月11日～15日) 映画上映会の実施に向けた打合せ(5・8月) 磯子区内障害関係事業所マップナビ改訂に向けた打合せ実施(6月) 広報特集号の打合せ(6・8月) ・事業会への啓発取組として、こすもすショップ事務局との打合せや、障害者施設向けアンケートを実施(7・9月) | ・こすもすショップは毎月第3水・木曜の定例販売として定着しており、区民と障害者のふれあいの場となっている。また、製品販売を通じて、地域の障害者施設の関心を高める機会になっている。 ・自殺予防週間パネル展については、図書館と協力して実施することができた。 ・障害者スポーツパネル展を年度当初予定から追加して実施することができた。 ・広報特集号の記事作成に向け、区内事業所の職員と、啓発効果の高い記事作成に向けた打合せを実施した。 ・こすもすショップ事務局との打合せを行い、事業会との連携に向けて前向きな感触を得た。 | ・普及啓発10回開催 こすもすショップ 6回(10月～3月) 磯子区内障害関係事業所マップナビ改訂(2月) 広報よこはま区版への特集記事掲載(11月) 障害者週間パネル展(12月4日～8日) 映画上映会(12月6日) ・アンケート結果を元にした、磯子事業会・こすもすショップ参加団体双方が実施可能な取組の検討 | 3 | | 3 |

| 【P】今年度の主な事業内容 (取組事項) | | 自己評価 | | | 事業評価委員の評価 | | | |
|----------------------|---|---|--|--|---|---|---|---|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 | 【C】現状の課題等 | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| | | | 中間期 達成数値/達成時期 | 中間期 振り返りコメント | | | | |
| 3 安全・安心で住みやすいまち | (1)地域で取り組む自助・共助の取組を支援します <総務課 福祉保健課 生活衛生課 高齢・障害支援課> | | | | | | | |
| | ①子育て世代に対する自助・共助の啓発・促進 | 子育て世代向け防災講座の開催 6回 | <ul style="list-style-type: none"> ・3回開催 「いそびヨ」での防災講座の開催 2回(8月29日・9月26日) 子育て家庭向け「防災食」講座の開催 1回(7月10日) | <ul style="list-style-type: none"> ・当初予定していなかった外部講師による「防災食」をテーマとした講座を開催した。 ・開催した講座は、分かりやすく実践できる内容であると参加者の評価も高かった。 ・講座を通じて、子育て世代の防災の取組みが不十分であることを実感した。今後の講座においても取組の重要性を訴えていくとともに、講座以外のアプローチも検討していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・5回開催 「いそびヨ」での防災講座開催 4回(～1月) 子育て家庭向け「防災食」講座の開催 1回(3月) ・申込み、抽選(10月) ・講演開催(11月18日) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん達は子育てや仕事で精いっぱい、他のところに目がいかないこともあるので、いそびヨでの講座は重要。これからは続けてほしい。 ・防災食講座は1か所だけではなく、例えばケアプラザを拠点にするとか、細かくやると参加率が上がるのではないかな。 | 3 |
| | | 親子向け防災講演の開催 1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣契約締結(8月) ・講演チラシの作成(8月)、区内各小学校に配付(9月)、申込開始(～10月18日) | | | | | |
| | ②地域防災拠点の支援 | 拠点単位の安全・安心マップの作成 8拠点 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点運営委員長に作成趣旨及び想定する活用方法を説明(6月) ・マップ版下作成委託(8月～10月) | <ul style="list-style-type: none"> ・各拠点が的確に活用できるよう、活用方法をまとめたテキストも併せて配付するなどの支援が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・マップ作成8拠点(～11月)及び配付(12月～) ・テキストの作成・配付(1月) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心マップを一番必要とするのは、障害を持っている方や外国籍の方だと思う。なるべく多くの方に見ていただかないと意味が無いと思うので、その辺りの工夫をお願いしたい。作って終わりではなく、その後どうやって展開していくのかを今後考えてほしい。 ・認知症がひどくなった方や発達障害を持った方は、大勢が集まっているところでは、いろんな症状が出てきてしまって避難所にはいられなかったり、動き回ったりしてしまう。周りの人が理解していないので怖がってしまう。周りの人たちと少し離れていられる場所の必要性がある。 ・実際にペットを連れてきて訓練できると具体性があると思う。 | 3 |
| | | 拠点運営委員対象の講習会開催 2回(2回) | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会テーマ選定(7月) ・外部講師(市社協)との講習内容の調整(8月) ・講習会の開催(9月21日) テーマ①:避難所における障害のある人への支援 <関連取組> ・拠点運営委員会個別の講習会の開催(8月29日:洋光台第四小学校拠点、9月23日:根岸中学校拠点) | <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の家族や支援者からの講義や「コミュニケーションボード」の活用講習といった実践的な内容とすることで、防災訓練での活用の動機づけにつなげる。 ・拠点訓練で講習内容を取り入れるよう、各拠点運営委員会での働きかけをする必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催(10月27日) テーマ②:HUG訓練(避難所運営ゲーム) | 3 | | |
| | | 拠点等でのペット防災対策の啓発 延べ11拠点以上(8拠点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ペット防災セミナーの開催(9月10日) ・拠点運営委員会事業検討会で再依頼(9月) <関連取組> ・動物病院へペット手帳配布 17病院各50部(7月) | <ul style="list-style-type: none"> ・ペット手帳がより広く行き渡るよう、配布先の拡大と、継続的な補充を行う。 ・拠点訓練等でペット防災対策に取り組んでもらえるよう働きかけを行う必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各地域防災拠点訓練でのパネル展示等(12月～) <関連取組> ・動物病院へのペット手帳随時追加配布(10月～) | 3 | | |
| | ③地域や防災ボランティアと小中学校が連携した防災訓練等の実施 | 12校(11校) | <ul style="list-style-type: none"> ・2校で実施 岡村西部連合自治会(岡村小学校児童183人、岡村中学校生徒70人)(9月1日) ・小学校長会において、学校と地域の合同訓練及び防災授業実施の協力の呼びかけ(6・9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度ほぼ全ての中学校で実施予定のため、実施率の低い小学校を対象に校長会で協力を働きかけた。 ・昨年度未実施の小学校や地域については、防災授業を盛り込んでもらうなど、個別に働きかけていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災授業実施協力について、未実施の小学校への個別の働きかけ(～12月) ・根岸地区合同防災訓練(10/15) ・根岸中防災授業(11月) ・森東小、杉田小、さわの里小、浜中、洋光台第一小(洋光台第一中参加)拠点訓練(1月) ・汐見台中拠点訓練(2月) ・森中拠点訓練(3月) ・山王台小防災授業(調整中) | 3 | | 3 |
| | | ④自治会町内会での災害に備えた要援護者支援の推進 | 事例発表会の開催 1回 | 事例発表会における講演講師の選定(8月) | <ul style="list-style-type: none"> ・講師選定に引き続いて、事例発表団体を選定するにあたり、各地区の取組状況についての情報収集を進めていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事例発表団体選定(1月) ・事例発表会開催(3月) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは作って終わりではなく、その後どうやって展開していくのかを今後考えてほしい。 |
| | 取組方法や事例集などを掲載したホームページ作成 12月 | | ホームページ掲載内容について関係課で検討のうえ、方向性を決定(8月) | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を分かりやすく伝えるために、掲載する情報の整理及び体裁の工夫についての検討が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係課での検討・作成(～12月) ・ホームページ完成(12月) | | | |
| | (2)防災対策に取り組めます <土木事務所> | | | | | | | |
| ①防災対策工事の実施 | 道路がけ防災工事の完了 1か所(1か所) | <ul style="list-style-type: none"> ・県道横浜伊勢原線磯子区杉田二丁目地内道路改良工事 ・工事契約(4月) ・工事着工(6月) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域への工事説明を実施し、工事内容について了承された。今後は、地元要望に対応しながら工事を進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事完了(3月) | 3 | | 3 | |
| | 橋梁架替工事の完了 1か所 | <ul style="list-style-type: none"> ・左右手橋架替工事 ・工事契約(8月) | <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、地元、関係機関と協議を進め、工事を円滑に進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事着工(10月) ・工事完了(2月) | | | | |

| 【P】今年度の主な事業内容（取組事項） | | | 自己評価 | | | 事業評価委員の評価 | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--|---|--|---|--|---|------|-----|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 | | 【C】現状の課題等 | 【A】今後の予定 | 達成度 | コメント | 達成度 |
| | | | 中間期 | 達成数値/達成時期 | 中間期 | | | | |
| 3 安全・安心で住みやすいまち | (3)まちの交通安全対策に取り組みます <土木事務所> | | | | | | | | |
| | ①交通安全対策の実施 | ⇒ 通学路の安全対策 歩道拡幅工事の着手 1か所 | <ul style="list-style-type: none"> ・28年度補正予算による通学路対策工事完了 4か所(～6月) ・スクールゾーン対策協議会実施 19校(～7月) ・汐見台平戸線(笹堀交差点から南区側)道路改良工事(岡村五丁目) ・占用企業者による工事が実施中(～9月) ・工事契約(9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールゾーン対策協議会で出された要望箇所に対して対策を検討する必要がある。 ・今後は、地元・関係機関と協議を進め、工事を円滑に進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・要対策箇所への安全対策を実施(～3月) ・工事着工(10月) | 3 | | 3 | |
| おもてなしの心による区民サービス | (4)地域での食の安全を支援します <生活衛生課> | | | | | | | | |
| | ①地域でのイベントや配食サービス・昼食会における食品取扱いの自主管理支援 | ⇒ 地域でのイベントや配食サービス・昼食会における食中毒発生ゼロ | <ul style="list-style-type: none"> ・地域での食中毒発生ゼロ(4月～9月) ・町内会等イベントでの食中毒予防講習会の開催 4回(4月～9月) ・食中毒予防講習会の開催 27回(4月～9月) ・食と暮らしのパネル展の実施(5・7月) ・電子掲示板で食中毒予防の啓発(4月～) | <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒予防講習会はボランティア活動や地域活動での食中毒を予防するためにも、今後も継続する必要がある。消費者への食中毒予防啓発も継続して行うことが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展の実施(10月) ・配食サービス等の支援(～11月) ・電子掲示板で食中毒予防の啓発(～3月) | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会はどれだけの人が参加するかということにかかっているため、周知の工夫が必要。 | 3 | |
| おもてなしの心による区民サービス | (1)親切・丁寧な区民サービスを提供します ～窓口サービス等の満足度向上～ | | | | | | | | |
| | ①おもてなし研修や対応マナー講座の開催、窓口外部評価の実施(総務課) | ⇒ 窓口満足度調査※における「満足」「やや満足」の割合95%以上 ※市民局が10月～11月に実施予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし研修の実施 6回、参加者179人(8月) ・対応マナー(アンガーマネジメント)研修実施に向けた調整(～9月) ・市民局実施の窓口外部評価(5月8日～6月2日)、報告会開催(7月) | <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし研修の受講者からは、「基本を再確認でき、ためになった」などの意見があり、概ね好評であった。 ・市民局実施の窓口外部評価は、96.4点で全市平均を0.9ポイント下回る結果であったため、これを共有し改善できるよう、今後の研修等に生かしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・対応マナー(アンガーマネジメント)研修実施(10月) ・区独自の窓口外部評価実施(11月～12月) | <ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応は良くなっていると思う。 ・2階でマイナンバーカードや住民票を取りに行ったときに案内の方がすぐサポートしてくれたので、待つ時間もあまりなかった。 ・新しいことにも取り組み、成果もあげているが、職員の負担が増えていないか心配。働き方の見直しを国を挙げてやっているところで、職員がずっと残業しているのはまずいと思うので、削るものを今後検討してほしい。 ・働き方に関する項目が無い。スキルアップとか新しい取組をしながら、同時にどうやったらストレス無く働けるかというのを、バランスを取りながら検討してほしい。 | | | |
| | ②マイナンバーカード申請者に対するすみやかなカード交付(戸籍課) | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを作成する地方公共団体情報システム機構(J-Lis)から磯子区役所に送付された納品数のうち、申請者に交付済みの件数割合81%(9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・29年6月から交付予約制を廃止し、申請者は交付通知書が自宅に郵送され次第、受け取ることが可能になり、交付が進んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、土曜開庁を含めて随時交付体制を維持(～3月) ・9月以降、28年12月までに交付通知書を送付した未交付者への勧奨通知を送付(～12月) | | | | |
| | ③個人市民税・県民税、固定資産税・都市計画税等の適正な課税(税務課) | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・29年度定期課税において適正な課税を実施(納税通知書発送) 固定資産税・都市計画税 57,778件(4月) 軽自動車税 20,257件(5月) 個人市民税・県民税普通徴収分 30,720件(6月) 固定資産税・都市計画税30年度評価替えの現地調査約2,000件(6月～8月) 課内に①CS(お客様満足度)向上②ES(職員満足度)向上③情報セキュリティ強化・ワークスタイル改革の三つのプロジェクトを設置(6月～) | <ul style="list-style-type: none"> ・29年度定期課税において適正な課税を行った。賦課誤りは発生しておらず、また、窓口等での誤交付、誤送付などの事務ミスも発生していない。引き続き、賦課誤りや事務ミスの発生ゼロを目指していく。 ・固定資産税は、30年度評価替えに向け、現地調査に取り組んでいる。 ・課内プロジェクトにおいて、①お客様満足度95%以上の達成、②超過勤務時間の縮減、③特定個人情報の適正な管理などの課題の解決を図っていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・納税者への迅速丁寧な説明(通年) <固定資産税> ・固定資産税30年度評価替え(3月) ・新築家屋調査及び賦課漏れ家屋調査(通年) <市民税> ・異動処理(通年) ・未申告者調査(12月) <プロジェクト> ・課題の検討と成果の検証(3月) | | | | |
| ④スキルアップ研修会の開催、快適な窓口サービスの提供(保険年金課) | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修会事前アンケートの実施(質問事項・情報提供事項の募集)(5月)/研修内容の検討(6月～8月)/朝礼での研修会の開催 全4回中2回(9月) ・窓口周辺と執務室内の清掃・整理整頓の実施 8回(5月～9月) | <ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートを通して、日頃、職員が窓口案内をする中で感じている疑問点などの洗い出しができた。アンケート結果を踏まえて研修内容を検討し、研修を実施したことで疑問点を解消することができた。 ・窓口周辺を快適に保つことができたが、執務室内は整理されていないところもあるので、引き続き定期的な整理整頓を実施していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修会の開催 残り2回(10月)及び振り返り(11月～3月) ・窓口周辺と執務室内の清掃・整理整頓の実施 月2回(通年) | | | | | |

| 【P】今年度の主な事業内容（取組事項） | | | 自己評価 | | | 事業評価委員の評価 | |
|---------------------|-----------------------------------|--------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 施策の柱 | 主な事業・取組 | 指標 ※()はH28実績 | 【D】主な実績 中間期 達成数値/達成時期 | 【C】現状の課題等 中間期 振り返りコメント | 【A】今後の予定 | コメント | |
| おもてなしの心による区民サービス | (2) 正確・迅速に事務を執行します | | | | | | |
| | ①各課と連携した迅速・適正な会計経理事務の執行（総務課・区会計室） | 経理事務研修等の開催 6回 ⇒ | ・延べ5回開催 経理担当者説明会 1回、参加者19人(5月) 検査員研修 2回、参加者17人(5月) 経理研修(契約支出事務編) 1回、参加者13人(7月) 経理研修(謝金アルバイト編) 1回、参加者23人(7月) | ・説明会、研修や日頃の注意喚起等を行うことで、概ね適正な会計経理事務の執行が図ることができている。 | ・総務課・区会計室共同による経理事務等の研修 1回(10月) | | |
| | ②道路・公園等の改善・補修要望への迅速な対応（土木事務所） | 年度内対応完了率 80% ⇒ | ・改善・補修要望受付件数:719件(9月1日現在) ・完了件数:514件(完了率:72%) | ・受付件数、完了率ともに昨年より減少している(前年同時期890件、前年同期完了率:78%)が、指標の達成を目標に進める。 | ・3か月ごとに進捗状況を確認(通年) | | |
| | (3) 環境に配慮した快適な庁舎環境を整備します | | | | | | |
| | ①快適でわかりやすい庁舎環境の整備（総務課） | 照明のLED化 9月 | ⇒ | ・事務手続きに着手(6月) ・業者選定(8月) ・工事完了(9月) | ・当初の予定通り、区庁舎3階廊下部分のLED化が完了した。 | 【指標達成済】 ・次年度以降(32年まで)に予定している庁舎内LED化を30年度中に完成させるため、温暖化対策統括本部に働きかける(9月～) | ・トイレは見回りもしていると思うが、綺麗にされている。 |
| | | 温水洗浄便座の整備 9月 | ⇒ | ・工事日程の確定(6月) ・業者選定(7月) ・工事完了(8月) | ・本工事の完了をもって区庁舎における全ての階に温水洗浄便座が設置された。 | 【指標達成済】 | |
| | | 音声誘導装置の設置 11月 | ⇒ | ・障害者施設の現地確認及びヒアリング並びに設置する装置の検討(6月) ・音声誘導装置の機種選定(8月) | ・装置に吹き込む音声内容を外部の意見を踏まえて検討する。 | ・区庁舎正面入口と国道16号側入口に音声誘導装置を設置(10月) | |
| | | 案内表示の見直し 11月 | ⇒ | ・当初予定していた、劣化していた区庁舎内の案内表示の撤去、改修、清掃の完了(9月) | ・区民から、より見やすい案内表示(サイン)にしてほしいという声があったことや、2020年の東京オリンピック開催に向けて、サインの新たな見直しに向けた検討を行う。 | 【指標達成済】 ・次年度、案内表示(サイン)の改修を行うための他施設の事例等の調査やプロジェクトによる検討を踏まえた見直し案を策定する(～3月) | |